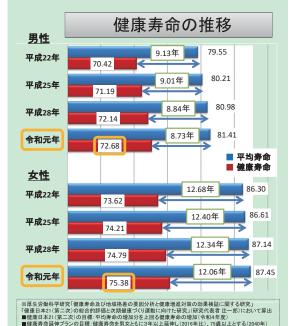


# 「生涯健康・健康長寿のまち立川」へ



【資料】平均寿命:平成13·16·19·25·28·令和元年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」



出典:厚生労働省

※ フレイルとは

人は年を取ると段々と体の力が弱くなり、外出する機会 が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要となっ てきます。

このように心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイル(虚弱)と呼びます。 【東京都医師会 HP より】

わたしは、埼玉西武ライオンズ事業部や整形外科医の衆議院議員公設秘書・歯科医の参議院議員私設秘書としての勤務経験があります。

現在、両親とも健在ですが、父は27年前、急性腎炎から人工透析に、 障がい者となりました。心臓も悪く入退院を繰り返しています。

母は8年前、岡山の祖父母の看病に通うストレスから健診に行くと胃が んを発見、完治したものの年々弱々しくなっています。

3年前には小中高の幼なじみ、また会社の後輩 2人(共に 30 代)を癌で失ったことをきっかけに、私自身も定期検診に行くなど健康に留意しています。

そこで今回は、資料を交えて健康長寿のまちを創っていくための施策を 考えていきたいと思います。

左のグラフは厚生労働省、令和3年12月20日「第16回健康日本21(第 二次)推進専門委員会」の資料から抜粋したものです。

誰もが願うのは、健康で長生きすること、しかし令和元年の数値では 男性で 8.73 年、女性で 12.06 年は療養生活を送っている状況です。 健康寿命を伸ばしていくため、政府も立川市も様々な取り組みを行っ ているとは思いますが、立川市に少なくとも以下の 3 点は力点をおい てさらに推進すべきと考えます。

### 1)フレイル予防(※)

食生活の改善指導や軽スポーツなどを通じて、「身体」 「こころ / 認知」「社会性」3つの虚弱対策に総合的に 取り組む必要があります。

#### ②口腔ケア対策の推進

8020 運動にみられるように自分で咀嚼・嚥下 することは健康の基本。 誤嚥性肺炎の防止にも 繋がる嚥下機能を維持し QOL の向上にも繋がる 口腔ケア対策をさらに進める必要があります。

### ③がん検診の推進・改善

国民病ともいわれる癌、早期発見・早期 治療が大切と言われつつも、立川市の検 診率は低い。(がん検診については、別号で酒 井大史都議と共に詳レく説明・提案します。)



## 酒井大史都議会議員歯科医療政策に取り組む。

## 障がい者歯科診療について 令和4年第一回定例会文書質問趣意書(要旨)

口腔ケアの必要性は、8020運動にみられる よう、これまで特に高齢者に対する QOL 向上を目 指し、嚥下障害や誤嚥性肺炎の予防の観点からも 注目されてきた。

その一方、障害を持たれている方の歯科治療に 関しては、当事者と治療にあたる一部の歯科医師 における課題として、広く注目されることは無かっ たと推察される。

障がい者の歯科治療は身体、知的、精神など、 それぞれの障害種別によって対応の困難さに違い があり、より専門性が必要とされる分野である。

都では、東京都立心身障害者口腔保健センター や療育センターなどで歯科治療にあたり、都内自 治体に対しても包括補助等にて支援をしている。

そこで以下質問する。

1 まず、都の障がい者歯科診療における現状と課題をどのよ うに認識され、検討しているのか伺う。

2 障がい者歯科診療に関しては、より専門性が求められ、 治療にあたる歯科医師の理解と

技術力の向上、さらには設備投 資も必要。

都は、市町村及び地域歯科医 師会などと連携して、障がい者 歯科診療の課題を共有し、さら なる支援を行なうとともに、都と しても多摩地域における拠点の あり方を検討すべきと考えるが 所見を伺う。

何ができるようになったの?









他にも、こんなご希望にあわせて検索できます。



本質問に対する回答は、令和4年第二回定例会に提出されます。

## 私たちはゴンドウ ヨシツグさんを応援し

ゴンちゃんは埼玉西武ライオンズ事業部のマネージャーや整形 外科医の衆議院議員・歯科医の参議院議員秘書を経験してきまし た。私も立川市や都の医療政策を充実し市民の健康維持に繋がる よう、三師会(医師・歯科医師・薬剤師)の先生方にお知恵をい ただくことが多々あります。



現在、私の秘書として活動するゴンちゃ んを市政に送り、3年前の市長選挙で私が 掲げた政策の実現に向けて道筋をつけてい きたいと考えています。是非、ゴンちゃん の活動にご注目ください。

東京都議会議員 酒井 大史

今回、立憲民主党は立川市議会議員選挙に向けて、現職2名に 新人3名を合わせ、5名の公認候補予定者を決定しました。

新人予定候補はそれぞれ経験を積んできた逸材です。

権藤良嗣さんは、民間企業での勤務経験、国会議員秘書経験、

さらには立川の街を知るため、個人事業主とし て配送業にも携わり、現在は酒井都議の秘書を しています。

酒井都議とタッグを組み、政策にも磨きをか けている権藤さんを自信をもって応援します。

衆議院議員 大河原 まさこ



### プロフィール

1974年(昭和49年)3月13日生、48歳・寅年 0型

広島県立広島国泰寺高等学校

青山学院大学経済学部経済学科

株式会社デンソー(現デンソーソリューション)

株式会社西武ライオンズ 事業部 マネージャー

衆議院議員公設秘書、参議院議員秘書

現在:都議会議員酒井大史秘書、個人事業主(運送業)

趣味 プロ野球観戦、食べ歩き、温泉めぐり、サウナ

動物好き(モルモット)

4年前の市議選では、1千人近い方々にご支援頂くも惜敗しま

した。この間、家業を営むと共に、酒 井都議と共に訪問介護事業所を立ち上 げ福祉事業にも携わっています。

今回、私は出馬を見送り、権藤さん を現場主義を受け継ぐ、後継者として 応援しています。

立川市議会第63代副議長 梅田 春生



連絡先 立川市曙町 2-34-6-803 都議会議員酒井大史事務所内 TEL 042-528-6522 FAX 528-6525 gondou@sakai-tachikawa.tokyo